

非稼働病棟の現状について  
(令和7年県独自調査結果)

医療圏	医療機関名	病棟名	病床数	非稼働開始時期	予定	再開時の機能	具体的な時期	非稼働理由	解消に向けた取組
尾張西部	総合大雄会病院	中5階	8床	2018年1月	再開予定	急性期	2026年4月 (前回調査時は 2026年5月)	透析治療を行う医師の採用遅れと、その間における法人内の2病院の病床機能再編にともなう病棟改修工事が必要となったため。	透析治療は腎臓内科医の募集を行うと同時に、泌尿器科医や非常勤腎臓内科医で診療にあたることとし、計画を進めている。病棟改修工事については、法人内病床機能再編の最終工程で行うとし、2025年2月開催の尾張西部構想区域地域医療構想推進委員会において、再開は2026年5月まで延びる可能性があることが承認されており、現時点では2026年4月の再稼働を予定している。
		中2階	12床	2024年4月	再開予定	回復期	2025年10月	2025年10月に法人内の2病院の病床機能再編(両病院間での病床数増減あり)を行う中で、総合大雄会病院は病床数が379→356床と減床する計画で本病棟が減床対象(大雄会第一病院へ移動)となり、一年未満のみの使用という短期間の再稼働が困難であったため。	非稼働理由にある通り、大雄会第一病院へ病床数を移す形で「大雄会第一病院の回復期」として再稼働予定である。  ※2025年10月に急性期機能から回復期機能へ機能種別を変更のうえ、大雄会第一病院へ病床移動を行い、開床している。
	稲沢市民病院	3階北病棟	32床	2019年10月	再開予定	急性期	2025年4月	新型コロナウイルス感染症への対応にあたり、医療スタッフを集約するため一時的に休床としたもの。	新型コロナウイルス感染症が収束するとともに、看護師を始めとしたスタッフの確保に目途がついたことで、2025年4月より開床している。

調査時点／令和7年9月19日調査依頼  
令和7年10月7日回答期限